

第2章 けがの防止 第5学年 ●————● 教科書 p.19～32 ◆配当授業時数：4時間

単元目標

- けがの防止について理解するとともに、けがなどの簡単な手当をすること。
 - ・交通事故や身の回りの生活の危険が原因となって起こるけがの防止には、周囲の危険に気付くこと、的確な判断の下に安全に行動すること、環境を安全に整えることが必要であること。
 - ・けがなどの簡単な手当は、速やかに行う必要があること。
- けがを防止するために、危険の予測や回避の方法を考え、それらを表現すること。

単元の評価規準

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|---|---|
| 身近な生活におけるけがの原因やその防止、手当について理解している。また、簡単なけがなどの手当の技能を身に付けている。 | 身近な生活におけるけがの原因やその防止、手当に関する課題を見つけ、その解決のための方法や活動を工夫しているとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えている。 | 身近な生活におけるけがの原因やその防止、手当に関する学習において、粘り強く進んで取り組むとともに、自ら目標を立てるなどして調整しながら進めている。 |

学習活動と評価の計画

知：知識・技能 思：思考・判断・表現 主：主体的に学習に取り組む態度
 ◎：該当する観点 ○：関連する観点

| 時間 (教科書頁) | 学習活動・内容 | 評価規準と評価方法 | 評価の観点 | | |
|------------------|--|---|-------|---|---|
| | | | 知 | 思 | 主 |
| 第1時 (p.20～21) | 1 けがの発生 1. さまざまな事故や犯罪による被害が起きていることを知る。 2. 教科書の資料などから、小学生の事故の現状について知る。 3. 事故やけがの原因について考える。 4. 交通事故の原因について、事例を通して考える。 | ・身の回りで事故や犯罪による被害が起きていることに気付いている。 【発言，記録】 ・毎年，事故や犯罪と，それらが原因となって起こるけがが発生していることに気付いている。 【発言，記録】 ・事故やけがの原因について，多面的に考えている。 【発言】 ・事故やけがは，人の行動，周りの環境が原因で起こること，人の行動は心の状態や体の調子と関係していることを理解している。 【記録】 ・事故やけがの原因を，三つの観点から考えている。 【記録】 | ◎ | ◎ | ○ |

*主体的に学習に取り組む態度の評価については、内容や時間のまとまりごとなど、評価が適切に行える段階で実施することが望ましい。

| 時間 (教科書頁) | 学習活動・内容 | 評価規準と評価方法 | 評価の観点 | | |
|-------------------|--|--|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | | | 知 | 思 | 主 |
| 第2時 (p. 22～23) | 2 交通事故の防止 1. 教科書のそれぞれの場面から、隠れた危険を探す。 2. 1の問題点と、危険を避ける方法を考える。 3. 自動車の特性について理解する。 4. 教科書の資料を参考にしながら、交通事故を防ぐための工夫や努力について考える。 | ・それぞれの場面について、二つ以上見つけることができている。【記録、発言】 ・問題点と危険を避ける方法を結び付けて考えている。【記録、発言】 ・危険に気付くための知識として、自動車の特性を理解している。【記録】 ・学習したことを踏まえて、それぞれの工夫や努力の目的を考えている。【記録】 | ○ ○ ◎ ○ | ◎ ◎ ◎ | ○ ○ ○ |
| 第3時 (p. 24～25) | 3 学校や地域でのけがの防止 1. 教科書のそれぞれの場面から隠れた危険を探し、問題点と危険を避ける方法を考える。 →p. 28～29「もっと」 2. 学校や地域で行われている、安全のための工夫や努力について考える。 3. 教科書の行動の例が適切かどうか考える。 | ・それぞれの場面について、二つ以上見つけることができ、問題点と危険を避ける方法を結び付けて考えている。【記録、発言】 ・それぞれが何のために行われているかを押さえている。【記録、発言】 ・学んだことを活用して判断している。【記録】 | ○ ○ ○ | ◎ ◎ ◎ | ○ ○ |
| (p. 26～27) | ●犯罪から身を守るために 1. 犯罪から身を守るためにどうすればよいか、犯罪が起きやすい場所や場面の資料を基に考える。 2. 教科書の資料を参考にしながら、犯罪の被害を防止する工夫や努力について知る。 | ・犯罪が起きやすい場所や場面について理解し、犯罪に巻き込まれそうになったときの対処について考えている。【発言】 ・それぞれの工夫や努力が何のために行われているかを押さえている。【記録、行動観察】 | ◎ ○ | ○ ◎ | ○ |
| 第4時 (p. 30～31) | 4 けがの手当 1. 教科書の事例を通して、けが人が出たときの対処のしかたとそのときのけがの様子について考える。 2. 二人一組になって、救急時の通報のしかたを練習する。 3. 自分でできる簡単なけがの手当の実習を行う。 | ・周りの危険、けがの種類や程度、できるだけ早く適切な手当をする必要があることなどを押さえている。【記録】 ・真剣に取り組み、的確な状況判断の下に通報ができている。【行動観察】 ・簡単なけがの手当の技能を身に付けている。【行動観察】 | ◎ ◎ ◎ | ○ ○ ○ | ◎ ○ |

※「けがの防止」を5時間で扱う場合は、上の表の第3時を2時間に分けて扱う。